

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）		
工業専門課程デジタルクリエイター科	2	課題制作Ⅱ		
授業の種類	授業担当者	実務経験		
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	徳田恭子	● 有   ○ 無		
<b>[実務経験歴]</b>				
<p>制作会社および一般企業にて、20年以上にわたりWebサイトのデザイン・構築・運用業務に従事。            企業サイト、キャンペーンサイトなど、多様な案件に携わる。            また、フリーランスとしてもWordPressサイトの提案・設計・構築・保守運用を継続的に担当。            ・Webディレクター（一般企業）：4年間（企画・要件定義・進行管理・品質管理を担当）            ・Webデザイン講師（職業訓練校）：4カ月コース × 4回担当            ・Webデザイン講師（専門学校）：5年間担当            ・&lt;使用技術&gt;HTML / CSS、 JavaScript、 PHP（WordPressテーマ開発）、Figma / VScode / Photoshop / Illustrator</p>				
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期		必修・選択
4 単位 （ 60 回 ）	120 時間	○ 前期   ○ 後期   ● 通年		○ 必修   ● 選択
<b>[授業の目的・ねらい]</b>				
<p>①基本的なサイトデザイン/コーディングを理解し、応用する力をつける            ②セマンティックを理解し、SEOの基礎を理解する</p>				
<b>[授業全体の内容の概要]</b>				
<p>①UIデザインのレイアウト、コーディングなどをパーツ毎に演習            ②デザイン・ウェブサイトのトレースを行い、ウェブサイト制作の実務を学ぶ            ③課題発見・要件整理・改善提案の一連のプロセスを実践し、クライアント案件への対応力を養う</p>				
<b>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</b>				
課題演習をこなすことで、クライアントの課題を解決する力を身につける				
<b>[準備学習の具体的な内容]</b>				
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。				
<b>[使用テキスト]</b>		<b>[単位認定の方法及び評価の基準]</b>		
<b>使用テキスト</b>  <b>参考文献</b> 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。		
<b>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</b>				
1回	UIデザイン基礎・レイアウト・パーツ演習（余白・グリッド・視線誘導）			
2回	UIデザイン基礎・レイアウト・パーツ演習（良いレイアウトの条件、既存サイトのレイアウト分析）			
3回	UIデザイン基礎②：コンポーネント理解（ボタン・カード・ナビゲーションなどのUIパーツ）			
4回	UIデザイン基礎②：コンポーネント理解（Figmaで簡単なUIパーツを作成）			
5回	UIパーツ演習①：ボタン・リンク・CTA（状態（hover/active）の考え方、配色・アクセシビリティの基礎）			

6回	UIパーツ演習①：ボタン・リンク・CTA（状態（hover/active）の考え方、配色・アクセシビリティの基礎）
7回	UIパーツ演習②：カードデザイン（画像+テキストの組み合わせ、情報の優先順位を考える）
8回	UIパーツ演習②：カードデザイン（画像+テキストの組み合わせ、情報の優先順位を考える）
9回	UIパーツ演習③：ヘッダー・フッター（グローバルナビゲーションの構造、PC/SPの違いを理解）
10回	UIパーツ演習③：ヘッダー・フッター（グローバルナビゲーションの構造、PC/SPの違いを理解）
11回	UIパーツ演習④：フォームデザイン（入力欄・ボタン・エラー表示、セマンティックHTMLの基礎）
12回	UIパーツ演習④：フォームデザイン（入力欄・ボタン・エラー表示、セマンティックHTMLの基礎）
13回	レイアウト演習①：1カラム・2カラム（ワイヤーフレーム制作、レスポンシブの考え方）
14回	レイアウト演習①：1カラム・2カラム（ワイヤーフレーム制作、レスポンシブの考え方）
15回	まとめと振り返り
16回	レイアウト演習②：LP構成の理解（ファーストビュー、セクション構造の読み取り）
17回	レイアウト演習②：LP構成の理解（ファーストビュー、セクション構造の読み取り）
18回	コーディング基礎①：HTMLのセマンティック（header / main / section / article / footer）
19回	コーディング基礎①：HTMLのセマンティック（SEOに強い構造とは）
20回	コーディング基礎②：CSSレイアウト（Flexbox、Gridの基礎）
21回	コーディング基礎②：CSSレイアウト（Flexbox、Gridの基礎）
22回	コーディング基礎③：UIパーツの実装（ボタン・カードをHTML/CSSで再現）
23回	コーディング基礎③：UIパーツの実装（ボタン・カードをHTML/CSSで再現）
24回	コーディング基礎④：レスポンシブ対応（メディアクエリ、モバイルファーストの考え方）
25回	コーディング基礎④：レスポンシブ対応（メディアクエリ、モバイルファーストの考え方）
26回	コーディング基礎⑤：1ページサイト制作（ワイヤー→コーディング）
27回	コーディング基礎⑤：1ページサイト制作（ワイヤー→コーディング）
28回	コーディング基礎⑤：1ページサイト制作（ワイヤー→コーディング）
29回	コーディング基礎⑤：1ページサイト制作（ワイヤー→コーディング）
30回	まとめと振り返り
31回	トレース準備：対象サイトの分析（レイアウト・色・フォント・UIパーツを分解）
32回	トレース①：ファーストビュー再現（画像・テキストの配置、レスポンシブ構造の確認）
33回	トレース①：ファーストビュー再現（画像・テキストの配置、レスポンシブ構造の確認）
34回	トレース②：セクション再現（実務的なCSSの書き方）
35回	トレース②：セクション再現（実務的なCSSの書き方）
36回	トレース②：セクション再現（実務的なCSSの書き方）
37回	トレース③：ヘッダー・フッター再現（ナビゲーション構造の理解）
38回	トレース③：ヘッダー・フッター再現（ナビゲーション構造の理解）
39回	トレース④：下層ページ再現（ページテンプレートの考え方）
40回	トレース④：下層ページ再現（ページテンプレートの考え方）
41回	トレース④：下層ページ再現（ページテンプレートの考え方）
42回	トレース④：下層ページ再現（ページテンプレートの考え方）
43回	トレース⑤：アクセシビリティ基礎
44回	トレース⑥：SEO基礎の実装（タイトル・見出し構造、セマンティックHTMLの再確認）
45回	まとめと振り返り

46回	実務プロセス①：課題発見の方法（既存サイトの問題点を洗い出す）
47回	実務プロセス②：ユーザー視点の分析（ペルソナ・ユーザーストーリー）
48回	実務プロセス③：要件整理（ワイヤーフレーム制作）
49回	実務プロセス③：要件整理（ワイヤーフレーム制作）
50回	実務プロセス④：改善デザイン制作（UI改善案をデザイン）
51回	実務プロセス④：改善デザイン制作（UI改善案をデザイン）
52回	実務プロセス④：改善デザイン制作（UI改善案をデザイン）
53回	実務プロセス④：改善デザイン制作（UI改善案をデザイン）
54回	実務プロセス⑤：改善コーディング
55回	実務プロセス⑤：改善コーディング
56回	実務プロセス⑤：改善コーディング
57回	実務プロセス⑤：改善コーディング
58回	実務プロセス⑤：改善コーディング
59回	制作発表会
60回	まとめと振り返り